

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社ルピナス新潟	事業所名	ケアステーションるぴなす
所在地	(〒950-0926) 新潟市中央区高志2丁目20番10号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

居心地の良さと居場所の良さを提供する。
 居心地の良さとは家族、居場所の良さは家～ご家族の代わりに居心地の良さと居場所の良さを提供する。
 一人暮らしでも、高齢世帯でも、認知症でも、がんの末期でも住み慣れた地域で最期を生きることができる。
 そのためには、医療、介護、福祉、行政の連携をはかり、ご利用者様、仲間そして自らを大切にする。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 3 月 2 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】・・・運営推進会議は開催せず、書面で意見を求めた。

実施日	西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日	出席人数 (合計)	(_____) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (_____ 人) <input type="checkbox"/> その他 (_____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>情報共有の方法は継続し、新しい情報や変更点の更新を忘れずに行う。業務の見直しは、日々気付いた時にカンファレンスノートに記入し、検討し改善していく。</p>	<p>ケース記録の見開きに、情報共有が必要な処置や変更点を記入し・周知・確認できるようにした。 業務日誌の重要な事に赤線を引き目立つようにした事で周知・確認できるようにした。 カンファレンスノートに記入された課題はカンファレンスやミーティングで検討した。</p>	<p>ケース記録見開きに情報を記入する事により、特に処置については確認しやすくなり良かったが、変更や終了の記入漏れがあり、周知されていない事がある。 カンファレンスノートにより検討できた事項もあったが、周知・共有ができていない面もある為、今後も継続して活用し、業務改善・課題解決ができると良いと思う。 現在の残っている問題が解決できるような取り組みを今後検討していただきたいと思う。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>介助の時も普段から、会話・関わりが増えるよう意識する。記録をする時も背を向けず、視野に入れる。</p>	<p>介助の時など、普段から意識して会話・関わりが増えるよう心掛けた。 記録をする時は記録だけに集中せず、利用者様の近くで記録をしたり、周りを視野に入れる努力をした。</p>	<p>普段から意識して関わりが増えるよう努めた。利用者様の希望や思いを汲むため、日常の会話を大事にしたが、希望を汲み取る会話をするには時間に余裕がなく、思うようにできなかった。コロナ禍で利用者様と職員と一緒に食事をとることもなかった。 記録の時は、利用者様の近くで、背を向けずに書く事を意識しているが、記録に集中してしまう事もある。</p>

<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>引き続き、他機関との情報共有・相談を円滑に行い、望んだ在宅生活が継続できるよう支援する。</p>	<p>自宅での生活が続けられるよう、配食、掃除、買い物等の訪問をしている。 日々の情報や変化を関係者で共有・把握できるよう、ご家族から話を聞いたり、看護職にも伝え連携を心掛け、その後の対応に努めた。</p>	<p>継続し実施できている。</p>
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>地域の小学校や幼稚園との交流、受け入れ、参加する。その他にも、地域の参加できそうな情報を集める。地域の居場所づくりと、相談拠点。</p>	<p>コロナ禍であり、地域の行事も中止となり、交流は難しかった。 近所のゴミ拾いを行った。 地域の方が率先して畑を作って下さった。また、事業所・利用者宅の草取り、除雪、見回り・声掛け等、地域の方より沢山協力いただいた。</p>	<p>コロナ禍で集まりや行事は中止となり、人との交流も限られていたが、できる事を行った。 畑の作物の収穫を楽しみ、皆で味わう事ができた。 事業所代表以下職員も、地域の草とり、清掃に参加し、一緒に汗を流してくれ感謝している。 月2回の自治会役員会の際、玄関、廊下等、清掃、整理整頓が行き届いている。 コロナ禍で、行事は一切できず、交流もなかった。現在はコロナの影響でやれることが限られており、難しい。 利用者の笑顔の写真や行事状況も掲示され広報活動が素晴らしい。 畑の草取りや野菜の育成は、地域住民が活躍してくれた。 今冬の大雪時は、自治会員がもっと多数、除雪に参加すべきであった。</p>

				<p>自治会もコロナ禍のため、お茶会はほとんど中止としたが、必要の情報等連携を図った。今後もコロナ対策を行いながら、連携を継続していただきたい。</p> <p>コロナ禍でも、きちんと対応していただき、ありがたい。</p>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)	個々について得られた情報を皆が見てわかるようにし、そこから個々の希望と叶え方を見出す。	個々の思いや希望を汲み取る事を意識し、会話や関わる機会を持った。 新たに情報用のファイルを作り、利用者様個々の情報を記入し皆が見れるようにした。	<p>会話や関わりから新たな情報を得て、それらの情報から個々の希望を叶える事は難しかったが、一人ひとりと向き合うように介助を行ったり、会話を大事にするよう意識する事ができた。情報はコミュニケーションを図る上でのヒントにもなった。</p> <p>新たな情報を得る事も難しかったが、時間に余裕がなく、得た情報の記録や共有が十分でなかった。</p> <p>何気ない会話や利用者の様子をみながら、その方の意向を汲み取っていけたら良いのではと思う。</p>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>日々の様々な情報や変更点が、周知・把握されていない事がある。</p> <p>カンファレンスノートを使い、業務改善・課題解決を目指しているが、うまくできていない。</p>	<p>情報共有の方法を再確認し、できていない部分を検討し、周知・把握を確実にする。</p> <p>業務改善を、皆で提案・検討する方法で行う。</p> <p>感染予防対策。</p> <p>事故防止対策。</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>利用者様の希望や思いを汲むため、普段から意識して関わりや会話を大事にしたが、時間に余裕がなく、思うようにできなかった。</p> <p>記録をする時は、利用者様の近くで、背を向けずに書く事を意識しているが、記録に集中してしまう事もある。</p>	<p>引き続き、利用者様との関わり・会話が増えるよう意識し、希望を汲み取り支援する。利用者様との関り、会話の時間を増やすための業務改善。</p> <p>リーダーが記録に集中できる時間を作る。</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>利用者様の日々の状況や様子、ご家族からの情報を、介護職・看護職が共有し、相談・対応している。</p>	<p>記録で確実に情報把握できるよう、わかりやすく記入する。</p> <p>処置等の確認をもっと把握しやすくなるよう検討する。</p> <p>利用者様について、気付いた事、対応等、普段から話し合える環境づくり。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>コロナ禍という事もあったが、僅かな時間も外に出る事は難しかった。</p> <p>地域の方が、畑作り、草取り、除雪等、手伝って下さった。</p>	<p>少しでも外に出る時間ができるよう、業務改善をする。</p> <p>コロナの状況によるが、地域との交流の機会があれば参加する。畑の収穫、地域の草取り、ゴミ拾いなど、できる範囲で参加する。</p>

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>利用者様一人ひとりの思いや希望を汲み取り支援する事を目標に、情報を集めファイルに書き職員間で情報共有しているが、情報を書く時間に余裕がない為、情報量が少なく、得られた情報から発展できていない。</p> <p>しかしこの活動を通し、利用者様一人ひとりと向き合い、会話を大事にして介助をしたり関わりを持つよう心掛ける事ができている。</p>	<p>新たに得られた情報を書きやすくし、皆で共有する。そこから思いや希望を見出し、どうしたら叶えられるか皆で話し合う。</p> <p>接遇の確認。</p>
---------------------------------	---	---

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○		<p>スタッフ個々で「今年度の目標」を立てて、達成できたか確認していくのはどうか。</p> <p>「よくできている」で良いと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している			○		<p>「おおよそできている」が良いと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			<p>定期的なカンファレンスを行い、記録、日誌、口頭、にて、情報共有している。</p> <p>「よくできている」が良いと思う。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている			○		<p>コロナ禍のため、推進会議や夜の茶の間の開催ができず、残念であった。</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている			○		<p>今後、改善に向けての取り組みを示してほしい。</p> <p>感染症対策は利用者にとっても大切。十分に行って欲しい。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている			○		<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>カンファレンス、ミーティングで情報を共有し、日誌や口頭で確認、ケース記録の見開きに変わった事をまとめ確認しやすくしたが、更新し忘れる事がある。業務日誌の特に大事な所に赤線を引く。情報の周知が曖昧で全員で共有できていない部分がある。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない			
(5) 安全管理の徹底								
① 各種の事故に対する安全管理								
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている			○		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ヒヤリハットや事故報告書にて情報共有し対応策を実施。定期的にミーティングで検討、情報共有し予防に努めているが、対応策が不明な場合もある。ヒヤリハット、事故報告の区分が曖昧であったり、職員の安全確保についての共通認識が確立していない。</p>	<p>ヒヤリハットと事故報告の区分は、事業所によってとらえ方が違うようだ。(他の事業所の運営推進会議に参加していると。)</p> <p>「おおよそできている」が良いと思う。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築								
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている			○		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>災害時の対応や緊急時の連絡方法は目の付く所に掲示している。避難訓練は行っているが、災害への不安は大きい。</p>	<p>災害時の対応は難しいが、日頃からの準備と心構え、多忙の中であろうが基本的訓練の反復が重要と思う。</p> <p>地震、水害、火事などそれぞれについての対応マニュアルや訓練などが変わってくると</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
						思うので、一つ一つ作り上げていく形になると思う。	
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			サービスが入る時間以外の暮らし全体のアセスメント、対応をとっているので、「よくできている」でも良いかと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			「よくできている」で良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○				<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>利用者・家族の意向に沿って、目標の達成に向けた計画を個別に作成している。</p>					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている			○			<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>心身機能の維持・向上の為に、ご本人ができる事はできるような計画と支援方法を心掛けている。</p>				<p>「およそできている」、「よくできている」で良いと思う。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できて いる	あまりで きていな い	全く できてい ない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている			○		<p>今後の状況+リスク管理をふまえて計画されているので、「おおよそできている」でも良いと思う。</p>	<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている			○		<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			<p>「よくできている」で良いと思う。</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			<p>「よくできている」で良いと思う。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>介護職は生活面、看護職は医療面を担当し、役割分担できている。</p> <p>介護、看護の役割分担、情報共有、連携がとれているので「よくできている」でも良いと思う。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○			<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ケアマネージャーを通してカンファレンスや、必要に応じてその都度、情報共有や検討を行い、記録や口頭にて周知・共</p> <p>介護、看護の役割分担、情報共有、連携がとれているので「よくできている」でも良い</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		有している。				と思う。	
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○			それぞれ適切に行えているようなので「よくできている」で良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			それぞれ適切に行えているようなので「よくできている」で良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						る」で良いと思う。	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			それぞれ適切に行えているようなので「よくできている」で良いと思う。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 計画の内容や生活での留意点を説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			それぞれ行えているので「よくできている」で良いと思う。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療職より、適宜説明している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族		○				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない			
	等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	[具体的な状況・取組内容] 希望・意向をできるだけ把握し、計画に反映しサービス提供している。				それぞれ行えているので「よくできている」で良いと思う。		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			[具体的な状況・取組内容] できるだけ在宅生活を送れるよう支援している。在宅生活が難しい状況の場合は、利用者・家族と相談している。	それぞれ行えているので「よくできている」で良いと思う。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			[具体的な状況・取組内容] 適切な時期に主治医より説明があり、利用者様、ご家族の意向等、内容を記録し情報共有している。	それぞれ行えているので「よくできている」で良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>電話、書面、退院前カンファレンス出席により連携し、円滑に在宅生活へ移行できるよう支援している。</p> <p>それぞれ行えているので「よくできている」で良いと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>医師、看護師にいつでも相談できる体制</p> <p>それぞれ行えているので「よ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		があり、管理者を通し行っている。 連絡先と相談する際の報告事項を掲示している。				くできている」が良いかと思う。	を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			それぞれ行えているので「よくできている」が良いかと思えます。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容]							
		休日夜間を含め、いつでも対応できる体制がある。管理者を通して医療機関へ連絡している。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が		○			コロナ禍で会議はできなかったが、電話連絡等で、必要な情報交換を行った。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		コロナ禍である為、集まって運営推進会議を開催する事はなかったが、情報交換・					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない			
	行われている	相談は随時行っている。				職員の利用者に対するきめ細かな気配り、対応等、困難な業務処理に感心している。 「よくできている」が良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です 	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信								
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>ホームページと事業所内の記録ファイルで見ることが出来る。</p>	「おおよそできている」が良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>コロナ禍であり、今まで行われていた茶の間やるびなす祭りができなかった。地</p>	<p>本年はコロナ禍のため啓発活動はやむをえないと思う。コロナが終息していない現在、感染防止のため、皆が注</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		域住民向けの啓発活動は行えていない。				<p>意事項を守り、元気で頑張りたい。</p> <p>今年度は地域住民向けの活動や、人が集まるイベントの開催は難しかったと思う。</p>	とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				<p>訪問看護のニーズのある方に対して、身体状況の把握や処置、機能維持などの内容で業務を行っていると思う。</p>	<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れること				○	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	ができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> たん吸引が常時できる体制ではない為、定期的にたん吸引が必要な方は受け入れている。必要な場合は、吸引以外にできる方法でケアしている。					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご本人・ご家族の意向に沿って、医療・					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		介護で連携し、自宅、事業所での看取りを支援できている。看取りの研修も行っている。					✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」 	
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支 	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		ビス提供している。				「およそできている」が良いと思う。	える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出し			○			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	や向上のための具体的な取組等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご家族には介護について相談や助言をしている。近隣の方が見守り、協力して下さっている方もいる。				地域内の要介護者や避難行動要支援者について、自治会としてもできる範囲での活動で見守り、安全安心をはかっていききたい。	いて、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 目標達成できていることが多いと思うが、達成度合いは利用者様個々によって	家族では気付きにくい部分も丁寧にご対応いただき、感	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		異なる。	謝している。	
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	<ol style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	得られている	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>医療と介護が連携し支援しており、医療が必要になっても在宅での療養生活が継続できている。</p>	<p>介護でも医療でのワンストップで対応、支援できる強みが安心感につながると思う。</p>	<p>ついて、評価します</p>
44	<p>○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている</p>	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>ご本人・ご家族の意向に応じ、自宅でも事業所でも看取りができるよう、医療と介護が連携し支援している。</p>	<p>多職種連携ができてい るので、利用者・家族の安 心感につながっていると思 う。</p>	<p>泊まり)での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない 場合は、「5. 看取りの希望者はい ない」</p>